

平成 26 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 1 月 9 日

上場会社名 株式会社柿安本店 上場取引所 東
 コード番号 2294 URL <http://www.kakiyasuhonten.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘 (TEL) 0594 (23) 5500
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 1 月 9 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 2 月期第 3 四半期	30,471	△1.7	1,429	△16.1	1,447	△15.8	735	△11.0
25 年 2 月期第 3 四半期	30,984	2.7	1,703	11.2	1,718	11.8	825	38.2

(注) 包括利益 26 年 2 月期第 3 四半期 755 百万円 (△7.8%) 25 年 2 月期第 3 四半期 819 百万円 (41.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 2 月期第 3 四半期	59.37	—
25 年 2 月期第 3 四半期	66.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 2 月期第 3 四半期	18,346	12,637	68.9
25 年 2 月期	18,047	13,133	72.8

(参考) 自己資本 26 年 2 月期第 3 四半期 12,637 百万円 25 年 2 月期 13,133 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 2 月期	—	0.00	—	35.00	35.00
26 年 2 月期	—	0.00	—	—	—
26 年 2 月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 26 年 2 月期の連結業績予想 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	42,499	△0.4	2,619	0.1	2,635	△1.6	1,414	8.0	113.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	12,446,700株	25年2月期	12,446,700株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	600,470株	25年2月期	361株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	12,378,638株	25年2月期3Q	12,446,354株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種経済・金融政策への期待感から、円安・株高が進行し、企業収益の改善など景気回復の兆しが見られたものの、一方で来春の消費税増税への懸念等、先行きの不透明な状況が続いております。

食関連業界におきましても、消費マインドの回復が一部に見られるものの、雇用・所得環境の好転には至っておらず、加えて、物価上昇も予想されるなど、個人消費は低迷し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、新たに企業メッセージ「おいしさ、育む。」を発信し、主力定番商品の刷新はもとより、これまでの牛肉・豚肉などの畜産物に対するこだわりを海産物・農産物へ広げ、食材の持つ「おいしさ」へのこだわりを更に拡大、深耕してまいりました。

出退店につきましては精肉店舗2店、惣菜店舗4店を百貨店に、和菓子店舗「口福堂」28店を大型ショッピングセンター中心に出店いたしました。また、10店の改装、7店の閉鎖を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,471,662千円(前年同期比1.7%減)、営業利益は1,429,620千円(同16.1%減)、経常利益は1,447,200千円(同15.8%減)、四半期純利益は735,043千円(同11.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

『黒毛和牛こだわり小間切れ』に引き続き、これまでの「ハンバーグ」を『お肉屋さんのこだわりハンバーグ』に全面刷新し、家庭の日常使い商品群の強化を進めました。

また、「美し国三重&ご縁の国島根」フェアにおいての三重県産の当社オリジナルブランド「柿安牛」と「しまね和牛」との食べ比べセット投入や、「創業祭」、11月29日の「いい肉の日」のお値打ち商品による拡販に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は10,535,336千円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益は808,522千円(同10.9%増)となりました。

(b) 惣菜事業

生産者の顔の見える安全で安心して食べられる本物の食材の発掘に注力し、『名人!林 種男さんが育てた京都産九条葱たっぷり ねぎまみれ鶏唐揚げ』や『奥出雲の美味しいお米 仁多米のおむすびと6つのおかず弁当』をはじめ「美し国三重&ご縁の国島根」フェアにおきましては、昨年より開始しました高校生レストランで知られた三重県立相可高等学校食物調理科とのコラボ弁当『孫心(まごころ)幕の内』も各県特産品による刷新を図るなど、おいしさの更なる向上に取り組んでまいりました。

この結果、当事業の売上高は9,090,075千円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益は775,164千円(同29.2%減)となりました。

(c) 食品事業

新たに、豚角煮やぶり南蛮漬けなど、おかずになる和惣菜と定番の牛肉しぐれ煮を詰め合わせ、歳暮ギフト・自家需要、両分野対応商品「和惣菜」シリーズとして投入しました。また、ハンバーグステーキギフトも従来の冷凍生ハンバーグギフトに湯煎タイプを加え、拡販を図りました。

この結果、当事業の売上高は2,514,460千円(前年同期比4.2%減)、セグメント利益は303,080千円(前年同期比0.5%減)となりました。

(d) 和菓子事業

当第3四半期連結累計期間において、大型ショッピングセンターを中心に28店の「口福堂」を出店し、この中で、岡山県への初出店により出店エリア拡大を進めました。

また、栗を中核とした秋の品揃え強化を「スイートマロンどら焼」や「栗大福」により図るとともに、みたらし味とよもぎ餅をはじめ、1本で2つの味を楽しめるよくばり団子シリーズの投入など、商品強化を進めてまいりました。

この結果、当事業の売上高は3,704,503千円(前年同期比15.6%増)、セグメント利益は150,684千円(同7.6%増)となりました。

(e) レストラン事業

「美し国三重&ご縁の国島根」フェアや、「創業祭」への限定メニュー提供に加え、ビュッフェ業態におきましては、10周年を迎え、これまでの人気メニューを再現、刷新し「10周年の十宝菜」「サクサク食感 南瓜のスイートサラダ」などの復刻メニューを投入するとともに、三重県四日市市名物をアレンジした『豚肉と彩り野菜の豚テキ風炒め』などを取り揃えた「地元グルメ大集合」フェアや「江戸めし大集合」フェアを開催しました。

また、 Grill業態では、「フォアグラ&トリュフ添え黒毛和牛サーロインステーキ」など高価格帯の品揃え強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は4,609,909千円(前年同期比13.2%減)、セグメント利益は293,627千円(同4.1%減)となりました。

(f) その他

柿安グループの店舗を設けていない百貨店・量販店等において、柿安総合催事を実施いたしました。

この結果、その他の売上高は17,378千円(前年同期比63.7%減)、セグメント損失は3,025千円(前年同期は474千円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ299,556千円増加し、18,346,991千円となりました。

主な要因は、現金及び預金1,538,498千円の減少がありましたが、売掛金1,109,880千円及び新規出店等に伴う有形固定資産255,965千円並びに仕掛品223,559千円の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ796,061千円増加し、5,709,734千円となりました。主な要因は、買掛金527,378千円及び賞与引当金201,341千円の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ496,505千円減少し、12,637,257千円となりました。主な要因は、利益剰余金299,421千円の増加がありましたが、自己株式の取得に伴う816,748千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年10月10日に発表いたしました「平成26年2月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,174,370	5,635,871
受取手形及び売掛金	2,400,573	3,510,454
商品及び製品	208,484	363,635
仕掛品	122,794	346,354
原材料及び貯蔵品	181,365	218,591
繰延税金資産	204,392	272,987
その他	40,788	90,609
貸倒引当金	△219	△321
流動資産合計	10,332,550	10,438,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,203,231	3,397,601
土地	2,282,565	2,282,565
その他(純額)	620,210	681,805
有形固定資産合計	6,106,007	6,361,972
無形固定資産		
その他	118,024	89,889
無形固定資産合計	118,024	89,889
投資その他の資産		
投資有価証券	188,194	222,446
繰延税金資産	274,718	229,359
差入保証金	838,271	807,576
その他	189,668	197,563
投資その他の資産合計	1,490,852	1,456,946
固定資産合計	7,714,884	7,908,808
資産合計	18,047,434	18,346,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151,762	1,679,141
未払金	395,259	487,758
未払法人税等	428,745	244,009
未払費用	877,336	1,064,651
賞与引当金	361,018	562,360
役員賞与引当金	37,950	28,455
その他	382,506	479,422
流動負債合計	3,634,578	4,545,799
固定負債		
長期借入金	702,500	575,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
退職給付引当金	13,048	17,376
資産除去債務	465,736	471,463
その他	97,807	100,095
固定負債合計	1,279,093	1,163,934
負債合計	4,913,672	5,709,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269,238	1,269,238
資本剰余金	1,074,763	1,074,763
利益剰余金	10,793,104	11,092,525
自己株式	△401	△817,149
株主資本合計	13,136,704	12,619,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,941	17,879
その他の包括利益累計額合計	△2,941	17,879
純資産合計	13,133,762	12,637,257
負債純資産合計	18,047,434	18,346,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	30,984,146	30,471,662
売上原価	16,743,223	16,110,300
売上総利益	14,240,922	14,361,362
販売費及び一般管理費	12,537,842	12,931,742
営業利益	1,703,079	1,429,620
営業外収益		
受取利息	3,024	2,216
受取配当金	1,631	1,679
協賛金収入	2,778	1,330
保険解約返戻金	—	5,805
その他	25,657	20,808
営業外収益合計	33,091	31,839
営業外費用		
支払利息	11,553	9,028
その他	5,761	5,230
営業外費用合計	17,314	14,259
経常利益	1,718,856	1,447,200
特別損失		
固定資産除売却損	25,856	6,092
減損損失	48,244	55,076
店舗閉鎖損失	101,818	—
その他	3,078	3,614
特別損失合計	178,998	64,783
税金等調整前四半期純利益	1,539,858	1,382,417
法人税、住民税及び事業税	751,236	681,960
法人税等調整額	△36,967	△34,586
法人税等合計	714,268	647,373
少数株主損益調整前四半期純利益	825,589	735,043
四半期純利益	825,589	735,043

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	825,589	735,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,990	20,821
その他の包括利益合計	△5,990	20,821
四半期包括利益	819,599	755,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819,599	755,864
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
(自己株式の取得)

平成25年10月29日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、平成25年10月30日付で自己株式600,000株(取得価額816,600千円)の取得を実施いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が817,149千円(600,470株)となりました。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,434,258	9,357,523	2,625,530	3,205,027	5,313,974	30,936,314	47,832	30,984,146	—	30,984,146
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,138,118	14,887	250,233	88,109	16,005	1,507,354	—	1,507,354	△1,507,354	—
計	11,572,376	9,372,410	2,875,764	3,293,137	5,329,980	32,443,668	47,832	32,491,501	△1,507,354	30,984,146
セグメント利益 又は損失(△)	729,307	1,095,452	304,480	140,033	306,062	2,575,336	△474	2,574,862	△871,782	1,703,079

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△871,782千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△906,336千円及びその他調整額34,553千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「精肉事業」、「惣菜事業」、「和菓子事業」及び「レストラン事業」において、店舗設備の減損損失をそれぞれ739千円、5,003千円、17,427千円、25,074千円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、48,244千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年3月1日至平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,535,336	9,090,075	2,514,460	3,704,503	4,609,909	30,454,284	17,378	30,471,662	—	30,471,662
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,200,090	12,969	264,825	108,435	21,109	1,607,429	—	1,607,429	△1,607,429	—
計	11,735,427	9,103,044	2,779,285	3,812,938	4,631,018	32,061,713	17,378	32,079,092	△1,607,429	30,471,662
セグメント利益 又は損失(△)	808,522	775,164	303,080	150,684	293,627	2,331,079	△3,025	2,328,054	△898,433	1,429,620

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△898,433千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△931,715千円及びその他調整額33,281千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」、「レストラン事業」セグメント及び「全社資産」において、店舗設備及び東京本部施設移設統合に伴う減損損失をそれぞれ5,912千円、26,430千円、22,733千円計上しております。
 なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、55,076千円であります。